

民報 ゆうばり

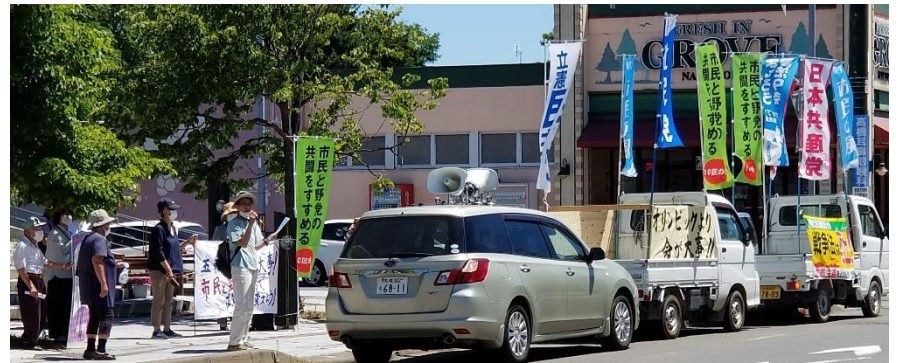
「五輪より命が大事！」

猛暑の中1市4町トラックキャラバン！



19日、1市4町の会が、恒例になった「トラックキャラバン」を実施しました。
1市4町の会は、平和憲法を守り生かし、平和と民主主義を守る1市4町の諸団体や個人などがつどい、一致する課題で協力・共同の行動をおこす緩やかな会です。
(明日の平和をつくりだす夕張の会・安保法制廃止をめざす栗山町民の会・ゆに9条の会・

個人の尊重と平和を守る長沼の会・南幌町などの有志個人で構成)トラックキャラバンは、2015年の安保関連法の成立を機に始まり、6年目となりました。
このトラックキャラバンには、地元の立憲民主党や日本共産党の市・町議会議員のほか、社民党道連の浅野幹事長、今回はさらに副代表の豊巻絹子さんも参加し、スピー



ちしていました。
立憲民主党からは、千葉清巳栗山町議、共産党からは、熊木恵子南幌町議、菟田亨長沼町議、大竹登由仁町議、重山雅世前栗山町議、くまがい桂子夕張市議がスピーチをし、「五輪よりも命が大事、国民の命と暮らしを守れ」秋には総選挙。市民と野党で政治を変えよ

う」と訴えていました。
酷暑となったこの日、暑さをしのぐ工夫をしながら、南幌町Aコープストア前を10時にスタートし、長沼長役場前、由仁町駅前、栗山ラッキー前、最後に夕張コープさつぽろ前で終了しました。



「市民パークゴルフ大会」開催 約300名が楽しくプレー

紅葉山パークゴルフ場では、今年度第2回目の市民パークゴルフ大会が開催されました。当日は、25℃を超え暑い日でしたが、30名近くの参加者が和気あいあいと楽しくプレーをしていました。

コロナ禍により5月半ばから緊急事態宣言が明けるまで休業を余儀なくされていたため、2か月ぶりの大会。参加者の皆さんは大いに張り切っていました。

同パークゴルフ場は現在、同パークゴルフ場を守る市民の会の会員有志が会場管理やコース整備、市民大会の企画・運営を自力で行っています。

木々に囲まれ、森林浴をしながらプレーを楽しむ同パークゴルフ場は、夕張市民の大事な財産です。



くずさんの 夕張歴史散歩(161)



石炭博物館模擬坑の火災 ②

悲劇の天竜坑

もともとこの坑道は、1900年(明治33年)に北炭が第三斜坑として開坑した炭鉱で、後に改名した天竜坑の跡でした。

ここは世界でも珍しく厚い石炭層(二十四尺層とよばれる)が露出していて、坂市太郎(二十四尺層の石炭を発見(推定の説もある)した大露頭です。いわば夕張発祥の地とも言われる記念物です。

しかし当時の採掘技術は、この厚い炭層を掘るのに追いついておらず、しばしば災害を起こし多くの犠牲者を出しています。

特に、1938年(昭和13年)10月6日の天竜坑の炭塵爆発は、死者161名、負傷2名という重大災害になりました。

遺体を露天で焼く

この時、一度に161の遺体を処理する火葬場がなく、通称シンコの沢で鉄板を敷いて露天で焼却しました。

このシンコの沢は、当時の炭鉱事故での遺体を、しばしば火葬してきた暗い過去を持つ怨念の沢です。

今で見ると、旧丁未選炭場(この夕張の歴史散歩「小説の中の夕張②」で紹介)から少し丁未よりのあたりです。

当初、富岡と錦・丁未間は深い沢でしたが、1898年(明治31年)夕張第一新坑(後の長良坑)が開発され、その際に採炭後に出るズリで埋め立ててしまいました。

以来、新坑の沢がなまってシンコの沢と呼ばれ、幽鬼の沢と噂されたと伝えられます。



畠山 和也「かけある記」
前衆議院議員

身近な場所にこそ日本共産党

年に一度の道党会議が十八日、オンラインも併用して開かれました。笑いや涙も交えて各地の奮闘を交流しあい、何としても比例議席奪還を私も決意表明。東京五輪・パラリンピック後の衆議院解散となれば、残り数十日でのしかありません。一日一日を大切にしなければとの思いです。「一日眠ることで空腹をしのいでいる」。学生への食料支援のなかで聞かれた言葉だといえます。別の会場では、食料を求めて列をなす学生の姿を見て「こんなに困っているのか」と涙を流すボランティアも。しかし、主体的に「政治を変えよう」と民青同盟に加わる学生が相次いでいるとの発言に、胸に勇気と希望の灯がともりました。今年一月に出産したという女性の話を、先日うかがいました。前の子を産んだときと病院の様子がガラリと変わり、コロナ感染防止への緊張状態が伝わってきたといいます。病院の大部屋もカーテンで仕切られて母親同士の語らいもできず、ひっそりと夜に泣き声が聞こえたとのこと。「喜びの出産はさすが、初産の母親には耐えられない環境だったかも」との言葉が胸に響きました。それに比べて、まったく胸に響かない菅首相の記者会見。国民の実態をリアルに知らないうえに五輪への執着ばかりで、ますます国民からかけ離れた存在になってしまいました。だからこそ地域・職場・学園という身近な場所で、献身的に活動する日本共産党へ寄せられている信頼。政治を変えよう。まことに草の根です。